



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 株式会社あじかん

上場取引所 東

コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 経営管理部長 (氏名) 澄田 千稔 TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,961	△6.0	342	△21.8	360	△29.7	225	△38.1
2020年3月期第3四半期	34,017	0.9	438	△43.0	513	△45.5	364	△42.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 245百万円 (4.5%) 2020年3月期第3四半期 234百万円 (△41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	29.65	—
2020年3月期第3四半期	47.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	25,832	12,783	49.5	1,679.62
2020年3月期	24,106	12,652	52.5	1,662.36

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,783百万円 2020年3月期 12,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	△5.0	350	△52.2	500	△41.3	300	△45.6	39.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2021年2月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,700,000株	2020年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	89,053株	2020年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,610,947株	2020年3月期3Q	7,601,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い経済活動が大きく抑制された結果、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。加えて、国外におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気減速懸念や米大統領選の影響により、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に外食・仕出し・給食業態の需要が大きく減少したことに加え、緊急事態宣言が解除された2020年6月以降も個人消費は緩やかな回復にとどまっており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『強い国内事業の実現』と『新事業の確立』をテーマとした第11次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、第三に「全社供給体制の強化と効率化」、第四に「品質管理の強化」、第五に「利益構造の改善」、第六に「経営品質・企業価値の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、31,961百万円（前年同四半期比6.0%減少）となり、前年同四半期実績を下回りました。一方、利益面につきましては、徹底的な諸経費抑制に努めてまいりましたが、売上高の低下に伴う粗利益の減少分を吸収するには至らず、営業利益は、342百万円（前年同四半期比21.8%減少）となりました。経常利益は、デリバティブの時価評価損などにより、360百万円（前年同四半期比29.7%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、225百万円（前年同四半期比38.1%減少）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①業務用食品等

販売面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する厳しい経営環境の中、スーパーマーケットを中心とした中食業態への可能な限りの提案・販売促進活動を展開し、売上高の減少を最小限にとどめる努力をおこなってまいりました。しかしながら、外食・仕出し・給食業態に加え、輸出・海外子会社の売上が大きく低下したことや、商談機会の減少、展示会を始めとした販売促進活動の自粛、繁忙期である盆の需要減少が大きく響いたほか、自然災害による一時的な需要減少などもあり、前年同四半期実績を下回る結果となりました。

生産面におきましては、自社製造製品の売上高減少によって固定費率が高止まりしましたが、当社主要原材料価格が安定して推移したことに加え、省エネ活動や、生産技術力の向上による歩留まり率改善などの原価低減活動をおこなったことが功を奏し、製造原価率は前年同四半期以下となりました。

他方、新型コロナウイルス感染症の影響による出張の自粛や経費執行の抑制などにより、販売費は大きく減少いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、28,210百万円（前年同四半期比7.7%減少）となり、セグメント利益（営業利益）は、1,284百万円（前年同四半期比18.4%減少）にとどまりました。

②ヘルスフード

新製品の菊芋ごぼう茶や生姜ごぼう茶の売れ行きが好調なことに加え、テレビCMや、紙媒体、電子媒体などで販売促進・広告活動を積極的におこなった結果、定期顧客数が増加し、通信販売の売上は前年同四半期を上回る結果となりました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化をおこなったことに加え、2020年9月に機能性表示食品としてリニューアルしたごぼう茶や、新製品のごぼう茶ミルクの導入効果もあり、前年同四半期実績を上回ることができました。

費用面におきましては、通信販売において導入しているポイント制度について、当第3四半期連結会計期間より引当金計上をおこなったため、前年同四半期に比べ、販売促進費が大幅に増加いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による出張の自粛や経費執行の抑制に加え、広告宣伝効率が大きく向上したこともあり、販売費は前年同四半期並みにとどめることができました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、3,316百万円（前年同四半期比12.1%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は、398百万円（前年同四半期比56.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,725百万円増加し、25,832百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,040百万円増加し、12,986百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加2,418百万円、商品及び製品の増加148百万円、その他に含まれる未収入金の増加113百万円、現金及び預金の減少476百万円、原材料及び貯蔵品の減少133百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ315百万円減少し、12,846百万円となりました。これは、投資その他の資産において、株価上昇に伴い投資有価証券が増加したものの、減価償却の進行に伴い有形固定資産が減少したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,594百万円増加し、13,048百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,637百万円増加し、11,340百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加1,286百万円、短期借入金の増加176百万円、その他に含まれる未払金の増加127百万円、賞与引当金の減少173百万円などです。なお、当第3四半期連結会計期間より、ポイント引当金の計上をおこなっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、1,708百万円となりました。主な増減要因は、リース債務の増加22百万円、長期未払金の減少50百万円などです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し、6,689百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ131百万円増加し、12,783百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上225百万円、その他有価証券評価差額金の増加40百万円、剰余金の配当による減少114百万円、為替換算調整勘定の減少10百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.0ポイント減少し、49.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年2月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,341	1,432,886
受取手形及び売掛金	4,905,054	7,323,532
商品及び製品	2,407,433	2,556,282
仕掛品	34,880	29,719
原材料及び貯蔵品	1,331,788	1,198,061
その他	377,416	466,072
貸倒引当金	△20,662	△20,448
流動資産合計	10,945,252	12,986,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,069,947	3,903,138
機械装置及び運搬具(純額)	2,553,341	2,291,574
土地	3,789,987	3,804,656
リース資産(純額)	117,716	147,890
その他(純額)	548,526	506,263
有形固定資産合計	11,079,519	10,653,523
無形固定資産		
ソフトウェア	243,072	291,898
リース資産	19,351	23,257
のれん	65,819	53,478
その他	2,780	2,729
無形固定資産合計	331,024	371,363
投資その他の資産		
投資有価証券	629,565	680,523
長期前払費用	1,031	815
繰延税金資産	107,667	45,655
退職給付に係る資産	196,885	235,263
その他	893,010	938,444
貸倒引当金	△77,238	△79,244
投資その他の資産合計	1,750,921	1,821,458
固定資産合計	13,161,465	12,846,346
資産合計	24,106,718	25,832,453

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,623,711	3,909,756
短期借入金	5,127,552	5,303,753
リース債務	58,415	71,137
未払法人税等	114,363	13,573
賞与引当金	328,400	155,000
役員賞与引当金	41,290	34,643
ポイント引当金	—	96,768
その他	1,409,264	1,755,730
流動負債合計	9,702,998	11,340,633
固定負債		
長期借入金	1,399,305	1,385,394
長期末払金	180,254	130,254
リース債務	95,375	117,805
資産除去債務	53,670	53,813
繰延税金負債	21,447	19,832
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,751,551	1,708,599
負債合計	11,454,549	13,048,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	10,306,948	10,418,481
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	12,443,761	12,555,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,611	124,305
繰延ヘッジ損益	5,733	△4,404
為替換算調整勘定	119,060	108,293
その他の包括利益累計額合計	208,406	228,194
純資産合計	12,652,168	12,783,490
負債純資産合計	24,106,718	25,832,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	34,017,567	31,961,670
売上原価	25,063,241	23,399,302
売上総利益	8,954,325	8,562,368
販売費及び一般管理費	8,516,034	8,219,491
営業利益	438,291	342,877
営業外収益		
受取利息	2,540	7,042
受取配当金	20,882	18,910
持分法による投資利益	27,040	36,394
為替差益	33,678	14,391
補助金収入	37,083	32,738
その他	35,413	38,453
営業外収益合計	156,638	147,930
営業外費用		
支払利息	28,383	25,744
長期為替予約評価損	21,541	89,376
その他	31,621	14,843
営業外費用合計	81,546	129,964
経常利益	513,383	360,843
特別利益		
固定資産売却益	57,777	12,083
投資有価証券売却益	24,096	23,337
特別利益合計	81,874	35,421
特別損失		
固定資産除却損	3,411	4,345
特別損失合計	3,411	4,345
税金等調整前四半期純利益	591,847	391,919
法人税、住民税及び事業税	176,143	120,077
法人税等調整額	51,250	46,143
法人税等合計	227,393	166,221
四半期純利益	364,453	225,697
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,453	225,697

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	364,453	225,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,497	40,693
繰延ヘッジ損益	7,002	△10,137
為替換算調整勘定	△70,632	△7,460
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,421	△3,306
その他の包括利益合計	△129,548	19,788
四半期包括利益	234,904	245,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,904	245,486
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	30,572,656	2,958,969	33,531,626	485,940	34,017,567	—	34,017,567
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	376,620	376,620	△376,620	—
計	30,572,656	2,958,969	33,531,626	862,561	34,394,188	△376,620	34,017,567
セグメント利益 又は損失(△)	1,575,022	253,907	1,828,930	△5,397	1,823,532	△1,385,240	438,291

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,385,240千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,413,695千円及びたな卸資産の調整額28,045千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	28,210,424	3,316,687	31,527,112	434,558	31,961,670	—	31,961,670
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	368,619	368,619	△368,619	—
計	28,210,424	3,316,687	31,527,112	803,178	32,330,290	△368,619	31,961,670
セグメント利益 又は損失(△)	1,284,551	398,193	1,682,745	△19,860	1,662,884	△1,320,006	342,877

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,320,006千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,307,759千円及びたな卸資産の調整額△12,247千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。